

48年6月号

【第120号】

発行所

編集発行人

大分県・日田・中津江村

斉藤隆一

広報

なかつえ

中津江中の六連覇なる

総合、敢闘共に優勝

第二一回、日田郡中体連陸上競技大会は、五月二十四日、五馬中学校グラウンドに日田郡七校の選手三五〇名の精鋭が参加し盛大に行なわれました。

紺のユニホームに「N」のマーク、白鉢巻の中津江中学校選手団は、過去昨年まで五連覇の実績を發揮、最初から首位にたち、他校を全くよせつけ終始リード、大量得点で優勝六連覇、敢闘も五連覇という偉業をなしとげました。

特に活躍した選手は 来年度は更に努力し、二年生の嶋崎吉文君が トラック、フィールド八百メートル、三千メートルにバランスのとれたものにして先生方は います、こうした優勝の原動力となった要因は、やはり早目に練習計画をねり、スケジュール通りの実行と、雨の日も体育館でのハードトレーニング、朝登校と同時に運動場の整備にかかったマネージャの努力など、各自が日頃の学校生活において心の通じあった生活ができており、連帯感に満ちたチームワークの現れであると思います。



陸上中体連で活躍する中津江の選手団

フィード競技の一部にや、弱い種目があったが、この点は大きい反省し、

また、本村の鯛生中学にしては、他の学校の五分の一にも満たない生徒数の中から懸命に健闘し、得点数最下はいたしかないもので敢闘四位は堂々たる成績だったと思います。

優勝した選手は 次の通りです。

百米…川村元枝(一女)

二百米…水野浩司(二男)

八百米…嶋崎吉文(二男)

大会新記録

三千米…嶋崎吉文(二男)

大会新記録、清水亀男(三男)

八百米リレー(一男)…梶原正一、伊藤守正、猪野隆司、井上勝稚

砲丸…川内洋美(全女)

三段…鷹野伸二(全男)

学校別総合得点

一位 中津江中 一四一点

二位 五馬中 一二八点

三位 東溪中 一一八点

四位 前津江中 七六六点

五位 上津江中 六七点



活躍する中津江選手団

人口の動態

昭和48年6月1日現在	人口	2,736人
	男	1,321人
	女	1,415人
	世帯数	654戸
	住民基本台帳から	

六位 大山中	六七点
七位 鯛生中	二八点
学校別敢闘得点	
一位 中津江中〇、八二点	
二位 上津江中〇、五七点	
三位 五馬中〇、五三點	
四位 鯛生中〇、四八點	
五位 前津江中〇、四六點	
六位 東溪中〇、三五點	
七位 大山中〇、二二點	

民謡審査会ひらく

二七詩の募集がありました

中津江村は昔から自然の美に恵まれ、自然にちなんだ歴史と伝説をいまの人たちがうけつぎ、まもってきています。

この自然の美しさや、歴史、伝説を詩でつづつてもらおうと一月号広報で募集いたしましたところ、二十七詩と

入選一位に

栃原の穴井 到さん

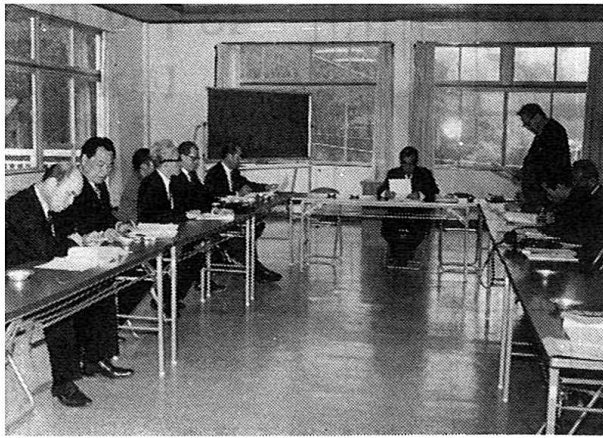
第一次審査では、広報で募集の要領をお知らせしましたとお

とき三月三十日公民館にて厳正に審議、優

ましたが審査に大変苦労したようです。

審査員には役場から

村長ほか七名、議会議長、副議長、商工観光関係者一名、学識経験者からは各学校の校長先生ほか八名、計十八名で構成され、審査は第一次、第二次と二回行ないました。



慎重そのものの審査会

領をお知らせしましたとお

「本村住民であること」とか「三句から五句までのもので五節から十節までのものが望ましい」ということを十分考慮のうえ、作者名を伏せて原文のま、審査にあたりました。

数々の作詞をされている人で知られています。審査会でそれぞれ意見交換を行ない慎重審査のすえ、出席者全員

ほかにもう一つ「梶原」と性だけのものもあり記念品が残っています。これらの詞を作られた方は大至急役場までご連絡下さい。



事務所前での穴井到さん

穴井さんは小国町宮ノ原出身四十二才昭和四十七年八月よりこの九州電力津江出張所に勤務され、現在栃原の人です。

津江の乙女の 茶摘み唄
 声のよいは 鶯ゆずり
 色の白さは 親ゆずり
 津江は墨絵の 杉山檜山
 雨が上れば 斧の音
 揺れる索道 夕陽に映えて
 乙女心も 亦揺れる
 谷の清水に 山葵の緑
 河鹿ほろほろ 恋心
 えのは見るよな 仕種をみせて
 誰に会うのか 水鏡
 武者の築きし 心の池に
 深いえにし 伝来寺
 山に今宵も キャンプの灯り
 酒呑童子は 恋の山
 朝日がさして

一位「中津江小唄」

穴井 到 作詞

二位のものは音頭として採用予定ですが作者の人が名まえを書き忘れていて賞金の送りに先にも困っています

渡神岳より

へ 金山閉じても

紅葉の津江は
山の稚茸
栗に柚子

主の立つ日は
泣き別れ

指折りかぞえ

堀ればころころ

へ 送りましようか

人情豊かな

けむる火の国

夢の里

温泉の町へ

へ 津江の秘境の

送られましようか

水を湛えて

霧の水郷

鳥がつく

日田までも

鴨のくる日を

二位 「津江音頭」

作者不明

津江はナ

津江はナ

ダムの村だよあの下釜の
湖上はるかに吹く夏風に
恋しいふるさと思い出す

昔しや筏で流した川が

津江はナ

渡神岳から時雨てくれて

今じゃなつかし語りぐさ

古き歴史の庭尋ねれば

ヨイヨイ
(以下各節)

秋は色こき 伝来寺

津江はナ

津江はナ

水の清さと乙女の心

見事栄えてにぎやかに

又も引かれて尋ねてくれれば

鯛生金山 夢のあと

アユや鱒やと 深い仲

津江はナ

途中一節を紙面の都合
から省略させています。

酒呑童子山今花ざかり

途
中一節を紙面の都合
から省略させています。

つつじしやくなげ裾模様

津江林研視察記

先進林業地を訪ねて (4)

上津江村小平 井上伸史

間伐木の選定

一団地ごとに枝打ちすべ

先的に間伐して

きか、否か/また枝打ちす

おりますが私の

ればどの程度までというよ

考えとしては、造林無育

うなことを実行しなければ

の回収は遅れても劣勢木

経済効果があらぬ枝打ち

に利用したほうがよいと

に終ってしまうことを知っ

中令林(二十五年生)

ておくべきである」と書か

四十年生)に対する枝打

これから枝打ちを初める地

ちについて、久保さんは

域にとつてただ単に枝を打

(現代林業、1972年

つのでなく以上のような事

十一月号枝打ち各論引用)

がらを考えた上で、この地

「三十年以上の木に実施

とらしく十分検討すべき問

する場合には、生育条件

題であろうと思います。

よる差はあっても、最低

それから「将来山の木を伐

二十年以上た、ないと枝

って生活しなければならな

打ち効果がでないから、

い者が、金もうけに取組む

もはいつてくるでしょう。
それらに対処するためにも
優良材生産へと頑張らなく
てはならないと思っている。
この道を開くためには労務
確保の問題、技術取得流通
の体制確立等今後困難とか
思われるが反面、材業に対
する意欲もわいてきました。
先に述べましたが久保さ
んの言われる様に「量産体
制が整い需要に応ずること
であれば期待が持てる」こ
れを目標にこの地域でも一
刻も早く優良材生産の産地
化へ進出できる様努力しよ
うではありませんか。

以上のような久保さんの
言葉を引用したり、色々と
言いたい方だいな述べまし
た。若者のくせに生意気な事
を書いたかもしれませんがお
許しく下さい。

我が両親共「仕事に勢を
出してくれ、ばと毎日神様
に折る気持でしようが……」
まだまだ日田のネオンサイ
ンが目にはらつき毎夜のご
とく通っておる昨今ですが
……林業に対して実践的
にも浅く、判らないことば
かりです。

実践されておられる方々私
により御指導して下さい
くお願い致します。
最後に、意欲的になりつ
つあるのも今回の研修に意
義があったものと自己満足
しています。

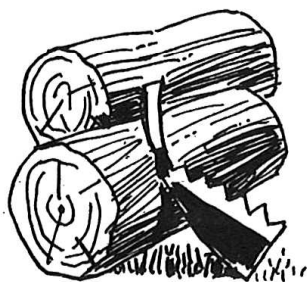
御指導して下さい
生を始め、細瀬芳二郎さん
山本徳二郎さんまた同行し
て下さった松本技師に感謝
の意を表します。

(現代林業1972年9月
号10月号11月号を引用)

四回にわたり連載い
たしました「先進林業
地を訪ねて」の井上さ
んの視察記は、今回で
終了です。

ご投稿ありがとうございました。

ご投稿ありがとうございました。



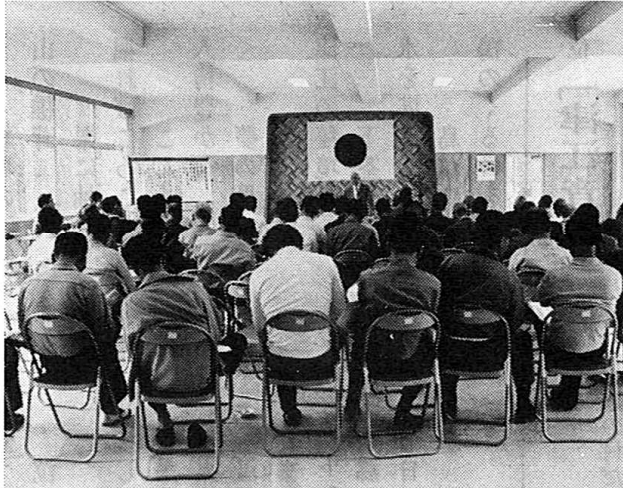
漁協の総会終る

事業計画など 承認されました

承認されました

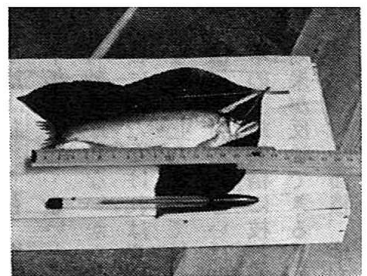
津江漁業協同組合で
は五月三十日中津江村
役場で四十八年度の通
常総会を終わりました。
組合員も五百二十三
人、大世帯となり総会
の成立も危まれたが、
代理権を含む二百七十
二人の参加で盛会に終
りました。

ことしは特に一昨年
漁業権免許が認められ
て二年目であるが、昭
和四十八年十二月三十
一日で期限切れとなり
切替申請をしなければ
ならず、加えて定款変
更の必要があり昭和四
十八年度の事業計画な
ど七議案が原案通り可
決されま



四十八年度漁協総会

決されま
した。
また、
議案の中
では行使
規則、遊
漁規則の
大巾な変
更があり
ましたの
で、組合
員の方も
遊漁され
る方も今
後は改正
された規
則を守つ



十八センチに育ったアユ

ていただくように願
います。
免許の切替について
これまでの免許では「
あゆ」が認可されてい
ませんでした。昨年
度試験放流した結果成
育も良かったので今回
は「あゆ」を追加して
免許を受けることにし
ています。

なおことしの放流事
業費は前回お知らせし
たとおり四十二万二千
円となっています。
販売店では
料金五割引き
これまで遊漁券は監
視員、販売店の販売額
を同額にしてきたが、
これから販売する日釣
券は、監視員が川で売

上げるものは二百円そ
のま、で、販売店売上
については五割を割引
きして百円売りとなり
ました。遊漁券を販売
店で前もって買っても
らえば半額ですむとい
うことです。
皆さん方のご協力を
お願いします。

エノハは五月三日宮
崎県五ヶ瀬町より一万
三千尾、県内水面試験
場より三千尾を購入し
津江川支流に役員さん
方の出勤をお願いし放
流を終わりました。

エノハ・あゆの 放流を終わりました

ことしの放流事業は
こい、エノハ、あゆ、
ワカサギの四魚種とな
っています。すでに
エノハ、あゆの放流を
終わりました。

あゆは四月二十三日
鹿児島産のあゆ四千尾



威勢よくとび出すエノハ

を県連合会のお世話で
購入し、ダム上流（元
栃原附近）に放流、鯛
生川、上津江川にのほ
り現在十八、二十セン
チメートルに成長して
いるそうです。

行使規則の 変わった点（組合員適用）

- ◎ 漁法として現に津江
漁場で使用していない
ものは規則からはづし
さお釣、吸込釣、投鋼
刺鋼、あみうけとする。
- ◎ あみうけは「つけて
ぼ」を含と解し、一人
一個とする。
- ◎ 漁業に舟（いかだを
含む）を使用する者は
年当り五百円の特別料
金を納付すること。
- ◎ うぐい（イダ）の漁
業期間は三月から五月
であったものを四月か
ら六月までとする。

遊漁規則の 変わった点（組合員外適用）

- ◎ 漁法としてはさお釣
吸込釣のみしか認めな
い。ただし、「吸込釣
」はこい、ふなだけに
適用するもの。
- ◎ うぐい（イダ）の漁
業禁止期間は三月から
五月までであったもの
を四月から六月までと
する。
- ◎ 遊漁料では魚種によ
って金額が異なってい
る。
- ◎ 中学生の遊漁料は大
人の半額となっていた
ものを、これからは無
料とする。
- ◎ 特別料金として「う
飼」「舟使用」を認め
ていたがこれからは認
めず、「あゆ」の投網
を一日千円とする。

酒呑童子山開き

川開きつり大会

家族づれがめだちました

昨年商工会の主催で行なった山開き、川開き行事は今年はどちらも村の主催で行なわれました。

山開きは五月十三日 小雨ちらつく中、酒呑童子山頂に約一〇〇名が登り、山火事防止と絶えはてることのない



6月3日、山開き酒呑童子山頂で登山者記念撮影

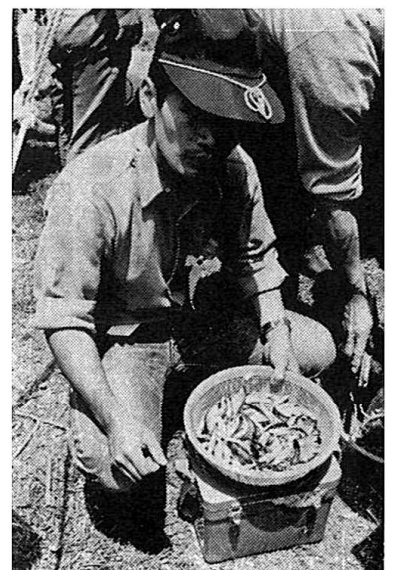
緑の自然を祈り、中西部落の長谷部豪さんの神事にて祈願祭を行いました。

昨年を上まわる

参加者でにぎわう

一方つり大会は、六月三日会場本部を栃原グラウンドにひかえ、西日本新聞日田支局の後援のもと、朝六時頃から参加者が殺到、係員も忙しそうでした。日田市内のお客さんが多く、遠くは大分市大牟田市からもこられ

登山者には全員記念のボールペンを贈り、下山後は麓のキャンプ場で恒例の宝さがしを行ない、盛りたくさんの宝のくじに子供たちは大はしやぎ、また、マスのつり堀もにぎわいました。



ハエ一品、つぶ揃い賞に選ばれた、日田市の佐藤和彦さん



酒呑童子山頂で山の安全祈願する長谷部豪さん



つり大会量目一位 小国町の壁村一昭さん

ていました。

家族づれの方、団体の方、村内小中学生まで約百人の参加者で大にぎわい、釣れた魚はハエ、イダが多くエノハ、鯉、ふなもみられました。

賞品も日田市の安元松尾、上野各釣具店からのご寄附、村内のうけドライブイン、日興産業からのご寄附などがあつてほとんど全員にゆきわたったようです。

入賞者量目一位には小国町壁村一昭さんが六・九キロつりあげ見



魚族愛護賞の池田柳治君

事一位、大物賞は日田市の高瀬慶一郎さんが入賞、いずれ劣らぬ腕を競いました。また一日中つりを楽しみ、全長五センチメートルの「アブラメ」一匹、大きなビックに大事そうに泳がせ愛護の気持がゆき届いている鯛生の小学生、池田柳治君は魚族愛護賞をもらいました。

お世話になったお札に バレーボールの贈り物

最近、中津江村の中学校を卒業した子供たちの中で三〇〜四〇%が就職、ほとんどが村外に流出しています。

東京、関西へと親元をはなれ、進学組より一足先に社会人としてスタート、第一線でそれぞれ活躍しています。卒業するまで家庭では親の保護を受け、学校では先生方の保護を受けてしか生活できなかった子供たちも、このように直接的な保護の手から解放され、一度に激動する現社会で自立して生活することは並たいていのことではなからうと思えます。このような就職組からの大変心の暖まる話題が届きましたのでお知らせいたします。

このお話は中津江村の武内校長先生から届いたものですが、こ

ったお札のお便りと、社会人になって初めての給料をもらったのとバレーボールの贈り物が学校の方に届けられています。

先生方をはじめ、生徒一同心のこもった贈り物に大変喜び、ありがたく使わせてもらっているということですが、

長谷部春美さんのお手紙をご紹介します、皆さんとお札を申し上げたいと思います。

中津江中学校一同様 拝啓

先生方の皆様お元気でしょうか。

私も仕事に、学院に一生懸命がんばっています。

この二十五日に生まれて初めての給料をもらいましたので、三年間お世話になったお札にバレーボールを送りたいと思います。

つまらないものですがどうぞおうけとり、お使になつて下さい。

これからも母校の発展をお祈りしています。

五月一日 さようなら

三重県津市 上浜町四一二七 長谷部春美

香典返しのお札

このたび日吉さんを亡くした山本部落の伊藤ユキ子さんと、四女潮里さんを病気のため亡くしました中村部落の渡辺親助さんご二人から香典返しとして、中津江村社会福祉協議会に多額のご寄附がございました。

お二人のめい福を折りますとともに、紙上をかりてお札を申し上げます。

中津江村社会福祉協議会



四耳口

前四月号につづき身体障害者福祉について述べます。援護項目として長期治療を要するものに療養給付治療機能訓練、生活指導（介護者がない低所得者）などがあります。

歩行困難な重度障害者で巡回相談会に参加できない在宅者には、助言指導で手帳の交付、診断、施設入所等の相談を受けます。

貧困な障害者、視聴覚の障害者、肢体不自由障害で等級一または二級の世帯主などに対しては、NHK受信料の全額免除半額免除の制度があります。

金障害者（内部障害者は除く）一種の者の介護者と二種の障害者には汽車、バスに乗車の際に五割の運賃割引制度があり、障害者で生業支度金等必要な場合、申請によって三分の利子で更正資金の貸付制度、また、排気

身体障害者福祉法

量一、五〇〇〇〇以下の自動車購入については、事前に福祉事務所に申し出て証明書の交付を受け、税務署に提出すれば自動車税が免除されることになっています。

所得税、村民税についても障害の等級によって控除があります。

身体障害者の健康維持、機能回復、体力向上と社会適応性に付与するスポーツ大会が年一回催され本年度は六月三十日、七月一日の二日間大分市で開催されることになっています。

そのほか体の不自由なこどもの施設入所や育成医療精神薄弱者の更生のための施設入所などあります。

以上のような身体障害者のための巡回相談会が、来る七月十八日、日田市市民館で開催されることになっていますから、該当と思われる方は遠慮なくご利用下さい。

料金は一切無料です。以上は大略ですから詳細なことについては係に申し出て下さい。（福祉係）